

COG2025 応募内容確認書

ID	30-18-3
自治体名	大阪府大阪市東淀川区
自治体提示地域課題	社会環境の変化に応じた地域コミュニティのカタチについて考える
チーム名	スポーツでつながり隊
アイデア名	ワールド探検隊～自然と会話が生まれ、つながる場～
チーム属性	学生：学生（ ）だけで構成されたチーム
チームメンバー数	5
代表者	笹栗 唯
メンバー（公開）	笹栗 唯, 木邨 愛生, 塔本 敦子, 中西 玲, 西浦 寿莉果

【確認事項】

- < 応募のPDFファイル名と送付先 > 確認しました。
- < 応募内容の公開 > 確認しました。
- < 知的所有権・肖像権 > 確認しました。問題ありません。

チーム名：スポーツでつながり隊

アイデア名：ワールド探検隊！～自然と会話が生まれ、つながる場～

該当する自治体名：大阪市東淀川区

地域課題：社会環境の変化に応じた地域コミュニティのカタチについて考える

1. アイデアの全体像

本プロジェクトでは、「世界の文化」を通して新たな地域コミュニティをつくる。ゆるく参加でき、**自然に会話が生まれる**コミュニティを目指す。

実行計画

【計画内容】

その日ごとにテーマとなる国を決め、その国に関する言葉を話したり、ラジオ体操程度の誰でもできる簡単な踊りを踊ったりすることで、異国の文化に触れる。その後アクティビティやランチを共にすることで、自然なコミュニティ形成を目指す。

【誰が】

- ・地域の人(東淀川区役所・ボランティア・ラジオ体操連盟、キッチンカー)
- ・学生(東淀川区市内大学の学生・東淀川区内の日本語学校における外国人生徒)
- ・学校(実施会場となる東淀川区内の小学校)
- ・企業(子育てに関する企業)

【何を(役割)】

学生が主体となり、デザインや内容、その日の進行のサポートを行う。

ラジオ体操連盟には、当日のラジオ体操の進行をお願いする。

日本語学校に通う外国人生徒やラジオ体操連盟の協力を得て、ラジオ体操や世界のダンスなどの指導を行ってもらう。

東淀川区役所の方にも、前段階の準備のサポートや子育て相談を行ってもらう。

企業には会場での商品のPRと引き換えに、資金提供をお願いする。(スポンサー)

【どこで】

東淀川区内の小学校グラウンドで開催(昼間のグラウンドレンタル費は無料)

(候補:大阪市立新庄小学校、大阪市立菅原小学校、大阪市立下新庄小学校など)

【誰に向けて】

東淀川区在住の子育て世代(小学生のいる家庭)を主な対象としながら、市民全般を対象

【いつ】

朝10時(休日)に月1回 定期開催を予定

【告知方法】

ボランティアは東淀川区役所や区内の駅、大学にプリントを掲示することで募集する。

参加者募集は小学校へプリントを配布し、区内掲示板にも掲示する。

→小学1年生が分かりやすいように漢字にフリガナをふる

【参加方法】

参加することで、シールを1枚配布。

毎週違うシールを配布し、それを集めることで1つの絵が完成(世界地図など)。

完成したカードと引き換えに世界のグルメキッチンカーの軽食無料サービス券がもらえる保護者と参加することでシールを追加で配布し、保護者との参加を促す。

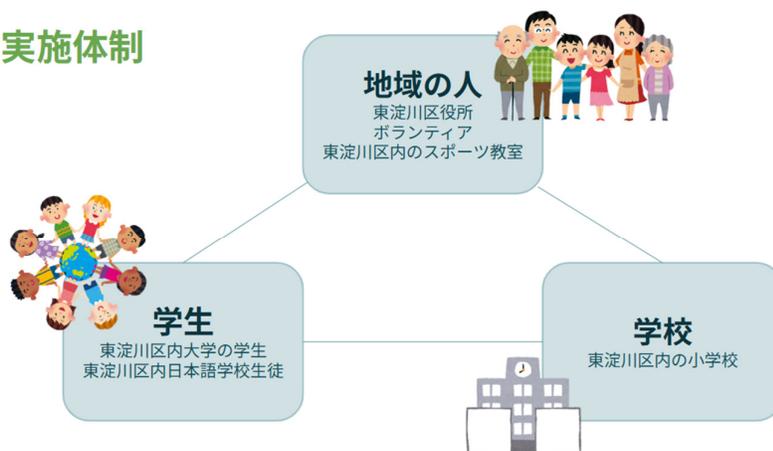
【期待される効果】

- ・世界地図を完成させるという継続参加してもらいやすい施策を行うことで**定期的な運動習慣につながる**
- ・知らない人と話すきっかけの場となり新たなつながりが生まれることで、**自然と地域コミュニティに参加しているような状態になる**
- ・相談の場を設け、保護者の参加を促すことで、**子育て世代の地域コミュニティへの参加率減少を改善**
- ・世界各国の文化に触れることで親近感を持ってもらい、異国への抵抗感をなくすことで、言語の違いから地域コミュニティに参加しづらい**外国人の方々がコミュニティに参加するハードルが下がる**
- ・企業は自社のPRとあわせて、日本人学校の外国人との新たな出会いや交流を通じて、**将来的な人材確保**にもつながる可能性がある

【当日の流れ】

- 9時30分頃 オープン
- 10時00分 ラジオ体操
- 10時10分 世界の挨拶、世界のダンス
- 11時 アクティビティ（世界の遊び）
- 12時 昼食
- 13時 相談会

実施体制



2. アイデアの理由

【このテーマを選んだ理由～なぜ「加入」ではなく「参加」？～】

→コミュニティに加入するという現在の形に違和感を覚えたから。

【加入】…団体や組織の仲間に加わること。

→団体に加入すれば自分に役割は与えられ、団体や仲間へ貢献しなければならない。

→プレッシャーやストレスを感じてしまう。

→これこそコミュニティに参加する方たちが減少している要因なのではないか。

【参加】…ある「目的」をもつ集まりに一員として加わり行動を共にすること。

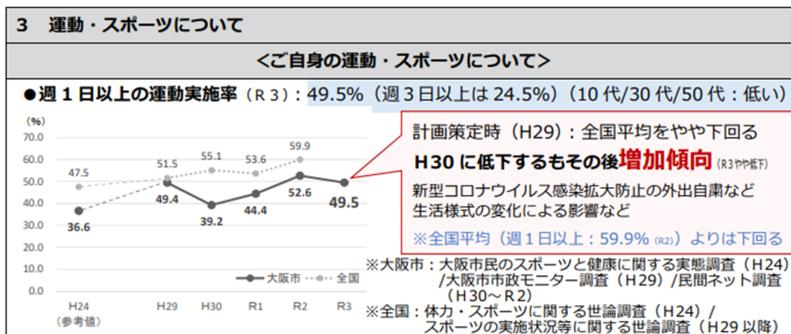
→加入よりも参加という言葉の方が気軽な感じがする。

→コミュニティに参加するハードルを下げることができる。

【世界のダンスを採用した理由】

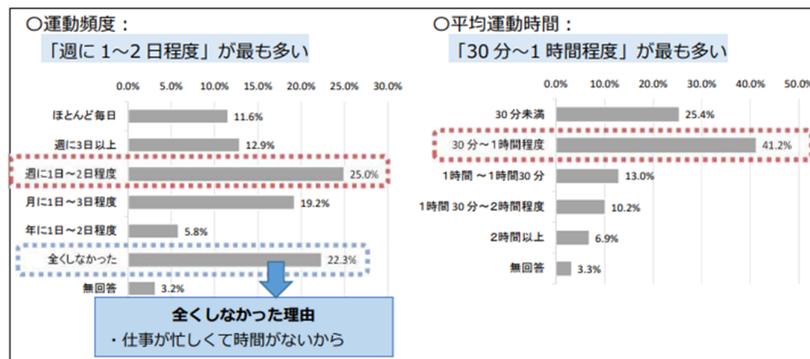
→以下のデータから、**運動をすることへの需要が増加**していると考えたため。

- ・大阪市民の週一日の運動実施率は増加傾向にある。
- ・大阪市民の運動頻度は週に1日から2日程度が最も多い
- ・平均運動時間は30分から1時間程度である



※各調査で対象が異なるため単純比較はできない。

2



引用 : 大阪市 「「大阪市民のスポーツと健康に関する実態調査」結果の概要」

<https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/11464/2osakashi3.pdf> (2025年11月16日閲覧)

【子育て世代をターゲットにした理由】

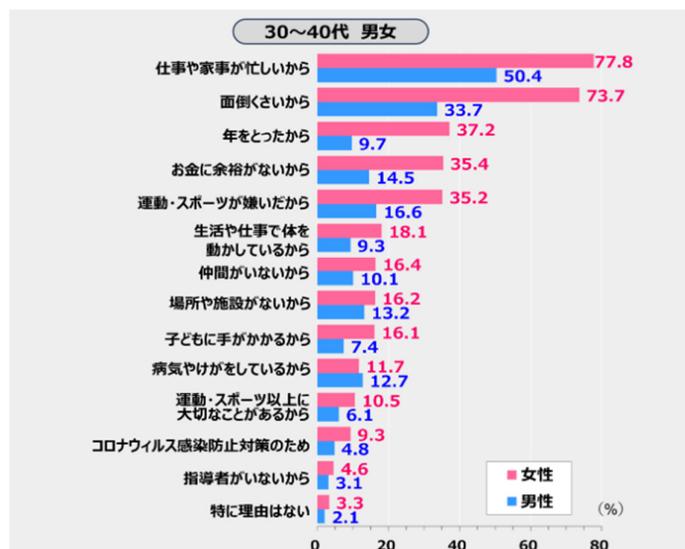
地域コミュニティへの参加率が低下している若い世代を呼び込むことが本企画提案の趣旨であり、それを改善することが地域コミュニティを維持するうえでもっとも重要な点であるため、この世代をメインターゲットに据えた。子供たちが好きであろうスタンプやシールを用いて、何かを完成させるという達成感を提供することで、まずは子供たちの興味を惹きつける。そして、保護者に同伴としてついてきてもらうことで、親同士の交流も生まれ、地域の人々ともつながりやすいきっかけの場となり、最終的には地域コミュニティの新たなカタチとなることを目標としている。

【子育て世代の運動をしない・できない理由】

以下のデータから、子育て世代は仕事や家事で時間に余裕がないことから運動ができていないことがわかる。また、面倒くさいという理由もかなり上位であることがわかる。しかし、本企画の最大の特徴は世界の文化を使って運動と食事を組み合わせていることである。

参加することで子供と遊ぶ時間と自分が運動する時間を両立することが可能になり、さらにキッチンカーで昼食を食べられることで、献立を考える負担が減る。これらを組み合わせることで、異国の文化に触れながら、市民の運動への関心も高めることができ、子育て世代がなかなか運動をできない理由も解消できる。

【スポーツ実施の年代別阻害要因】（週1日以上実施できない・直近1年以上運動しなかった理由）



参考文献：スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop11/list/jsa_00040.html

(2025年12月3日)

3. 実現までの流れ

【資源】

ヒト：地域、学生、学校

モノ：ログインカード、シール、チラシ、机、いす、音響機材

カネ：講師謝礼費（3万）食材・材料費（10万）

広告費、印刷費、備品購入費（合わせて7万）

予算合計：約20万円（初期費用+第1回目での合計を想定）

※スポンサー企業からの資金提供で運営予定



【スケジュール】

	段階	アクション
1月	制作	ミーティング（イベント内容）
2月		ミーティング（イベント内容） 設備利用の確認 協力依頼用の資料作成
3月		協力依頼・募集（日本語学校・ラジオ体操連盟など）
4月		宣伝資料作成・カードの作成
5月		当日の役割・リハーサル
6月		ミーティング（最終確認）
7月		備品の手配 宣伝資料配布・掲示
8月	実行	開催
その後	振り返り・改善	問題点のフィードバック